

第 1 回山形県屋内スケート施設整備検討会議の概要について

1 開催日時

令和 6 年 6 月 26 日 (水) 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

2 出席者

委員 8 名 (県内スポーツ関係団体代表、一般県民、学識経験者等)
事務局 6 名 (みらい企画創造部長、重要プロジェクト等推進監等)
アドバイザー (屋内スケート施設に係る専門事業者)

3 協議内容

(1) 事務局からの説明

令和 4 年度屋内スケート施設あり方検討会議報告書及び令和 5 年度屋内スケート施設基礎調査の概要について説明。

(2) 委員からの主な御意見

- 昨今のスポーツ施設は、施設の複合化・多目的化、防災、インクルーシブ、省エネ・ゼロカーボン、インバウンドなど多様な切り口・役割が求められる。
- 季節を問わず子ども達が楽しめる施設は、まちの魅力向上、ブランディングにもつながる。一方、施設整備や管理運営に多額の公費負担が生じる見込みであり、将来の子ども達の税負担が大きくなるか不安もある。
- 投資回収や運営の黒字化は困難と見られ、公費の投入が避けられないのであれば、スケート利用だけでなく、スケート以外のスポーツをする人やスポーツをしない人も含めて、多くの県民が利用できる施設とすべき。
- 競技人口が少なく、一般の利用者も多くないことが想定されるため、多機能性が重要であるとともに、競技団体と連携したスケート教室の開催など、裾野の拡大に向けたハード・ソフトの一体的な整備が必要。
- 子ども達のアクセスを考えると、車でしか行けない周辺部ではなく、交通機関を利用し歩いて行け、社交場にもなり得るような都市部への立地が望ましい。

4 今後の進め方

第 1 回会議における委員からの御意見を踏まえながら、関係団体へのヒアリングや次回以降の会議の進め方について、委員と協議のうえ決定。

以上